



🌻 自分も友達も みんな大切 🌻

先週の水曜日に、人権教室がありました。人権擁護委員の方々をお招きし、「思いやり」や「助け合い」をテーマとした学習を行いました。今回は、「白い魚とサメの子」というお話を聞き、それぞれが感じたことを共有しました。周りの魚とは違って、自分はカラフルでもなく小さな体であることを気にしながら海の中で生活をする1匹の魚のお話です。お話の中に、白い魚の「ぼくなんて、いなくなっているんだ。」という台詞がありました。それに対して子どもたちは、「いなくなっている人なんていない。」「そんなことを言ったら周りの人が悲しいと思うよ。」と、自分の考えをもって聞いていました。お話のテーマと自分たちの生活を結びつけて考える姿もありました。学年目標にもある「だいじな仲間」という部分に立ち返り、日々の生活を過ごしていけるようにしていきます。



🎮 みんなが😊にな

る使い方について、親子で一緒に学ぼう！📺

THC（津南ヘルスチャレンジ）カードの取組、ありがとうございました。お子さんの実態と保護者の方の願いについて、このようなご意見をいただきました。

メディアコントロール習慣での約束	保護者の方の願い・思い
○様々なメディアの利用時間について（実態） ・30分間 ・40分間 ・50分間 ・60分間 ・90分間 ・120分間 ・150分間 ○寝る時間の30分前～2時間前にやめる ○勉強して（やることをやって）から利用する。 ○スポーツの練習をしてから行う。 ○利用する時間を決める。	○時間を見て、もう少し早く行動できるようにしてほしい。 ○21時には寝るようにがんばりたい。 ○寝る時間を毎日一定にしたい。 ○親も子も、もう少し意識できるようにがんばりたい。 ○(子どもの)ゲームやテレビの時間を短くすることができない。 ○親ももう少し協力できることはないか。

2年生の結果からは、親子でルールを決めて適切に利用するように工夫されている方がいるように感じます。一方で、睡眠時間が短いことや食べ物の好き嫌い、基本的な生活習慣を身につけることなど、体と心の成長となる土台となる部分を大切に育てるために、親子でメディアコントロールしたいという願いをもっている保護者の方も多く、そのための方法を知りたい方が多いと感じました。

そこで、7/7（火）のフリー参観日では、4限（11:15～12:00）に、インターネット利用アドバイザーの大久保真紀さんを講師に招き、「メディア学習会」を行います。親子で参加できるスタイルですので、ぜひ、多くの保護者の皆様から参加していただき、メディアコントロールに向けて見直すきっかけになるのではないのでしょうか。